

クリスティアン・アルミンク
音楽監督就任!
《SECRETS》
～音楽の不思議～



広島交響楽団

第31回

島根定期演奏会

2024年度プラバホールリニューアルオープン記念

チェロ:横坂 源
Violoncello: Gen Yokosaka

指揮
クリスティアン・アルミンク
Conductor: Christian Arming

©Shumpei Ohsugi

©Takashi Okamoto

オルガン:室住 素子*
Organ:Motoko Murozumi

2024 4.27 (土) 14:00開演 (13:30開場)

松江市総合文化センター
プラバホール
松江市西津田6丁目5番44号

松江市西津田6丁目5番44号

オーブニングオルガン独奏

J.S.バッハ
トッカータとフーガ ニ短調
J.S.Bach:Toccata and Fugue in D minor

J.S.バッハ
主よ、人の望みの喜びを
J.S.Bach: Jesu, Joy of Man's Desiring

ドヴォルザーク (没後120年)

序曲「謝肉祭」作品92

Dvořák: Carnival Overture Op.92

ドヴォルザーク

チェロ協奏曲短調作品104(B.191)

Dvořák: Cello Concerto in B minor Op.104 (B.191)

ヤナーチェク (生誕170年)

狂詩曲「タラス・ブーリバ」*

Janáček: Taras Bulba



◆入場料(全席指定・税込)／一般:3,300円(当日:3,800円) 学生:1,500円(当日1,800円)

◆チケット発売日/2024年1月28日(日)/広響事務局は2024年1月29日(月)

◆プレイガイド／[島根]プラパチケットコーナー (0852)27-6400(受付/火曜日を除く9:00～17:00)

島根県民会館チケットコーナー(0852)22-5556

タカキ楽器店 (0852)21-4509

大島屋楽器店 (0853)63-3016

[鳥取]らぱん (0859)34-5767/アルテプラザ (0859)38-5127

[広島] 広島事務局 (082) 532-3080 (受付/平日9:00~17:20)

※学生席は小学生以上25歳以下の学生が対象。
当日要学生証。

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。

※開演時間に遅れられた場合、入場に制限が
ございます。

■主催／広島交響楽団松江公演開催実行委員会（松江市、松江商工会議所、公益財団法人しまね文化振興財団〈島根県民会館〉、株式会社山陰中央新報社、山陰中央テレビジョン放送株式会社、株式会社エフエム山陰、株式会社電力サポート中国、カナツ技建工業株式会社、株式会社佐藤組、中国電力株式会社、株式会社中電工 島根統括支社、中電プラント株式会社、松江土建株式会社、まるなか建設株式会社）、公益社団法人広島交響楽協会

■共催／松江市プラバホールリニューアルオープン事業実行委員会

■助成／公益財団法人ごうぎん文化振興財団

■協賛／一畑工業株式会社、鹿島建設株式会社、カナツ技建工業株式会社、株式会社佐藤組、株式会社中電工 島根統括支社、中電プラント株式会社、徳畑建設株式会社、株式会社原商、松江土建株式会社、まるなか建設株式会社、島根電工株式会社

■後援／島根県、島根県教育委員会、松江市教育委員会、松江市文化協会

■特別協賛／



お問い合わせ プラバチケットコーナー TEL: 0852-27-6400 / 広報事務局 TEL: 082-532-3080

チェコ《古都物語》

松江市プラバホールのリニューアルオープン記念公演に、新・音楽監督クリスティアン・アルミンクが登場。かつてチェコのヤナーチェク・フィルの首席指揮者を務めたその経験から、プラバホールを象徴するパイプオルガンを活かしたヤナーチェクの「タラス・ブリーバ」をメインに、前半はドヴォルザークの名作2曲とともに皆様をチェコの旅にご招待。ウクライナ・キエフのコサック軍の「隊長ブリーバ」と二人の息子の物語りで、ポーランド軍との戦いの中での愛と葛藤、そしてそれぞれの死を描く。ソリストの横坂源は若くからその才能を開花させた国際的チェリストで、デビューから25年に及ぶ幅広いキャリアはすでにベテランの域に達している。その堂々たるドヴォルザークのコンチェルトにも期待しよう。



指揮:クリスティアン・アルミンク Conductor : Christian Arming

ウィーン生まれ。レオポルト・ハーガーや小澤征爾のもとで研鑽を積み、ボストン響や新日本フィルにデビュー。ヤナーチェク・フィルの首席指揮者、ルツェルン歌劇場およびルツェルン響の音楽監督などを経て、2003～13年に新日本フィル、2011～19年にベルギー王立リエージュ・フィルの音楽監督として活躍。2017年からは、広島交響楽団の首席客演指揮者を務め、2024年4月から同団の音楽監督に就任する。

これまでにチェコ・フィル、ドレスデン・シュターツカペレ、フランクフルト放送響、ウィーン響、ザルツブルク・モーツァルテウム管、トゥールーズ・キャピトル国立管、スイス・ロマン管、ボストン響、シンシナティ響、N響などに招かれ、オペラではフランクフルトやストラスブールの歌劇場、新日本フィルなどで《ドン・ジョヴァンニ》《サロメ》《ホフマン物語》《フィレンツェの悲劇》などを指揮している。2019年には小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトで小澤征爾と共に《カルメン》全4公演を指揮した。レコーディングも数多く、ヤナーチェク・フィルとのヤナーチェク、シューベルト作品、新日本フィルとのブラームス／交響曲第1番、マーラー／交響曲第3番および第5番、リエージュ・フィルとのフランク／交響曲二短調などをリリース。また、シルバ・オクテット、リエージュ・フィルとの共演によるディスクがドイツ・グラモフォンからリリースされた。

チェロ:横坂 源 Violoncello : Gen Yokosaka

桐朋学園女子高等学校（男女共学）、同ソリストディプロマ・コースを経て、シュツットガルト国立音楽大学、並びにフライブルク国立音楽大学で研鑽を積み。

2002年、全日本ビバホール・チェロコンクール史上最年少で第1位受賞。2010年、ミュンヘン国際音楽コンクール第2位受賞。室内楽部門では2009年に全ドイツ学生音楽コンクールで第1位受賞。これまでに出演音楽賞（2005年）、齋藤秀雄メモリアル基金賞（2008年）、ホテルオークラ音楽賞（2012年）を受賞。

13歳で東京交響楽団とソリストデビュー。2019年/2020年に演奏活動20年を迎え、ドイツでWürth PhilharmonikerとS.S.ヴィリドフのチェロ協奏曲「つばき」の新作委嘱・世界初演と、東京交響楽団（齋藤友香理指揮）との日本初演を行い、日本フィルハーモニー交響楽団（山田和樹指揮）とM.ルグランのチェロ協奏曲の日本初演を果たした。

使用楽器は、日本音楽財団よりストラディヴァリウス1696年製「ロード・アイレスフォード」を貸与されている。



オルガン:室住 素子 Organ : Motoko Murozumi

東京大学文学部美学芸術学科在学中、合唱団の演奏会を行なった教会でパイプオルガンと出会い、その音色に魅了されオルガンを始めた。

東京藝術大学音楽学部器楽科（オルガン専攻）に入学、秋元道雄、H.ピュイグ＝ロジェ、Z.サットマリー各氏に師事。安宅賞受賞。同大学院修士課程修了後、水戸芸術館音楽部門の主任学芸員を務め、「市民のためのオルガン講座」に対し、吉田秀和・水戸芸術館館長賞受賞。

95年以降は、活動の場を都響、新日フィル、N響、読売日響、サイトウキネンオーケストラなどへ広げた。特に「サン＝サーンス：交響曲3番オルガン付き」は、J.フルネの元で研鑽を積み、ベルティーニ、フルシャ、大野和士、秋山和慶、下野竜也ら指揮者のもと、50回を超える公演を成功させている。2010年、小澤征爾／サイトウキネンオーケストラと「ブリテン：戦争レクイエム」をカーネギーホールにて共演。小澤征爾音楽塾講師（2006）、水戸芸術館オルガン講座講師、日本オルガニスト協会会員。



あかるい未来

このまちの全ての人が、この先もずっと快適に暮らせるように。
わたしたちには、電気のある安心な毎日をお届けする使命があります。

中国電力株式会社

<https://www.energia.co.jp/>

